

長崎県大村市の企業が持つ舗装技術で カンボジアの洪水対策に挑む！

～大村市の大村セラテック株式会社、JICA と委託契約を締結～

国際協力機構（JICA）は6月15日、大村セラテック株式会社（長崎県大村市、鏑流馬清規社長）が実施する「洪水対策に資する透水性インターロッキングブロック（ILB）舗装の普及・実証事業」（カンボジア王国）にかかる業務委託契約を締結しました。

カンボジア王国は、農業、観光、製造業および建設等を中心に高い経済成長を続けています。今後も持続的経済成長を実現するため、都市交通、電力、上下水道などの都市環境の整備に取り組んでいます。しかし、熱帯気候特有の集中豪雨による洪水や浸水被害が頻発し、企業や店舗での経済活動への悪影響や道路の水没による交通への支障、また衛生環境の悪化などの様々な問題を引き起こしています。

本事業は、カンボジアの首都プノンペン都及び、シェムリアップ州において、両都市の公共事業運輸局と協力し、「透水性インターロッキングブロック（ILB）舗装」と「道路排水側溝」を一体化した舗装技術の有用性・優位性を実証し、普及方法及び課題が整理・検討されることによって、雨季時の洪水対策に資する事業を目指しています。

同社は1955年の設立以来、グループ企業を含め長年培った建設総合企業としての技術をカンボジアに移転するとともに、地元、長崎県の製造業界の海外ビジネスによる将来展望への期待、並びに自治体や大学との連携による地元経済・地域活性化への貢献が期待されます。



（左）インターロッキングブロック（ILB）施工例
“水たまりが出来ず、雨が降っても滑らない”



（右）カンボジア工場 “プノンペン郊外”

※「中小企業海外展開支援事業～普及・実証事業～」は、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、現地での適合性を高め、普及を図ることを目的とするものです。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州国際センター 担当：野路

TEL 093-671-8204 e-mail : Noji.Toshio2@jica.go.jp